

事務事業名	精神障害者家族会補助金交付事務				担当	健康福祉部 社会福祉課 障がい福祉係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名			
施策名	3	障がい者の自立と社会参加の支援				■ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市障害者計画				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 昭和53 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
法令根拠	真岡市補助金等交付規則								
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	1. 社会福祉費	1. 社会福祉総務費					
事業概要	精神障がい者の社会復帰に努め、疾病の理解と家族間の親睦を図るため助成する。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 補助金交付申請→審査→決定 2年度計画 前年度と同様				⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(実績) 2 年度(見込) ア 補助金額 千円 27 27 27 27 27 イ ウ エ オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 精神障がい者家族会				⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(実績) 2 年度(見込) ア 精神障がい者家族会数 団体 1 1 1 1 1 イ ウ エ オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 精神障がい者の社会復帰と家族間の親睦を図る。				⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(実績) 2 年度(見込) ア 会員数 人 10 10 10 10 12 イ ウ エ オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 精神障がい者の自立と社会参加の推進を図る。				⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(実績) 2 年度(見込) ア 親睦を図った会員及び家族の割合 % 100 100 100 100 100 イ ウ エ オ							
(2) 総事業費の推移				単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	27	27	27	27	27		
			事業費計（A）	千円	27	27	27	27	27		
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
			延べ業務時間	時間	6	6	6	10	10		
			人件費計（B）	千円	25	25	25	40	40		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	52	52	52	67	67		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		精神障害者家族会は、精神障がい者の社会復帰を図る真岡市精神障害者小規模共同作業所「真岡ひまわり作業所」（こぶしの会に運営委託）を設置することを目的として昭和53年に発足し、同時に助成を開始した。									
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		本市で精神保健福祉手帳を取得している者は平成30年で430人、自立支援医療（精神通院）の利用者は778人であり、年々増加傾向である。									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		精神障害者の家族は、当事者が発症したことに対し、自責の念に駆られやすいため、同じ境遇の他者と気持ちの共有を図ることは重要である。									